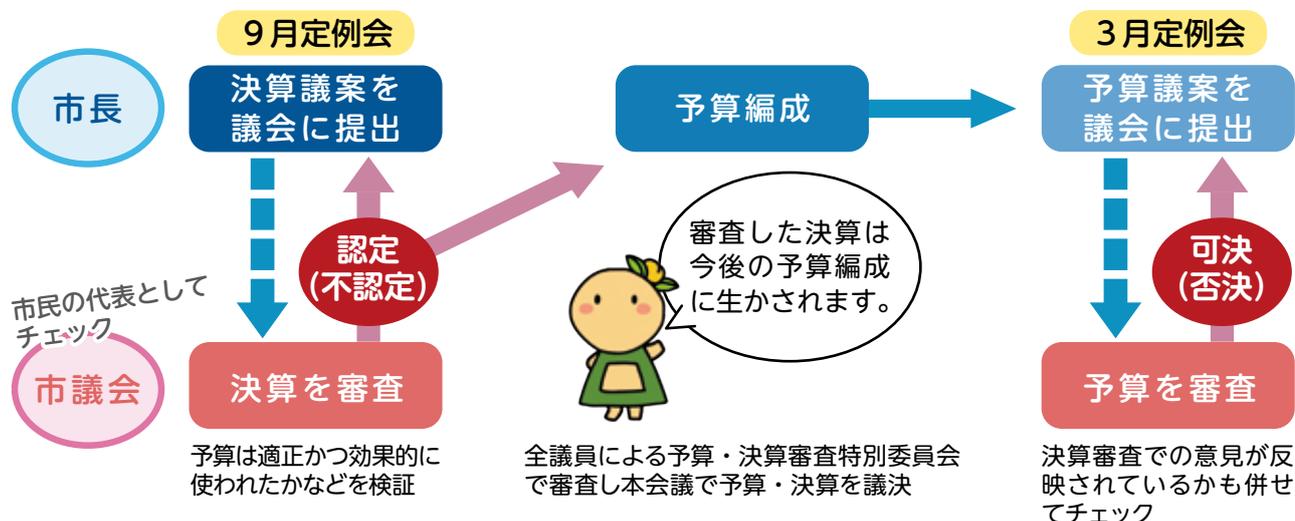


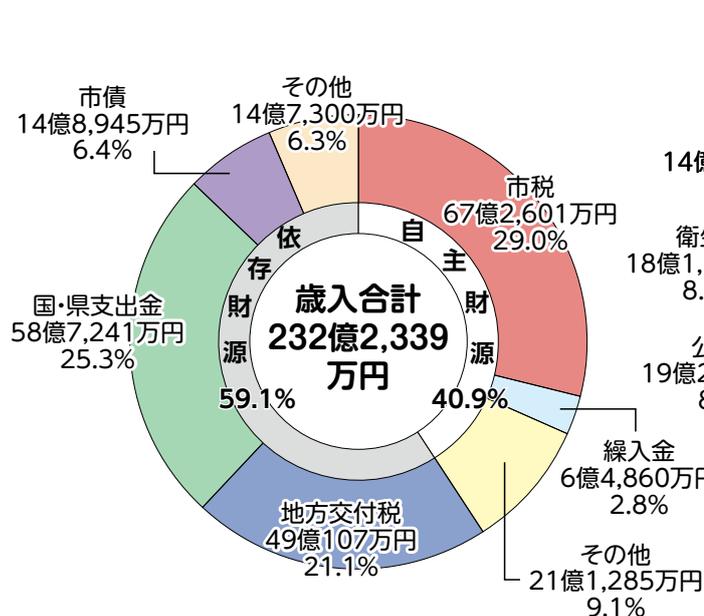
平成31年度(令和元年度)決算

決算を審査して、未来への予算につなげる

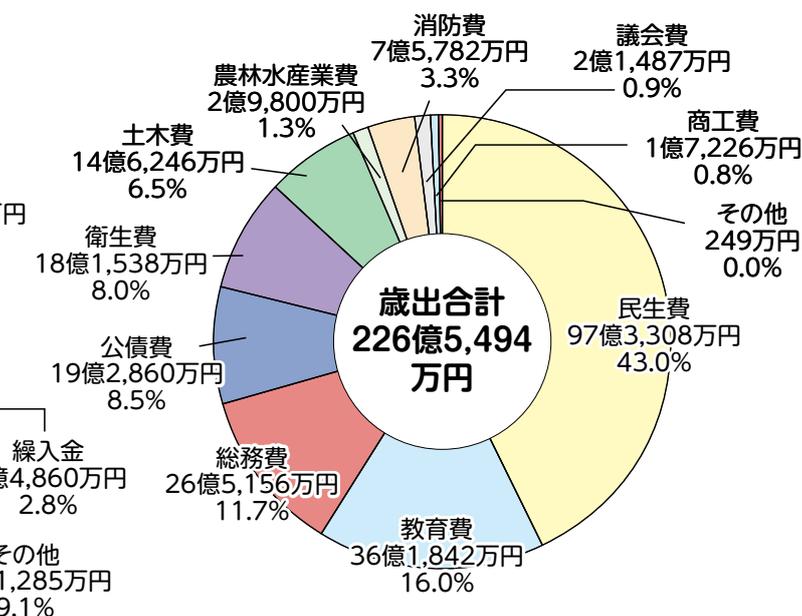
決算から翌年度予算までのプロセス



一般会計歳入



一般会計歳出(目的別)



監査委員の意見

平成31年度(令和元年度)は、合併に伴う地方交付税段階的削減の最終年度にあたり、市財政は一つの転換期を迎えた。人口増加による税収増や基金運用による財産収入、ふるさと納税の増加などにより自主財源を増やしつつあるものの、それを上回る義務的経費、特に扶助費の増大に拍車がかかっており、樂觀できる状態ではない。

予算から決算へ そして次の予算へ

決算審査特別委員会では、市の予算が適正に執行され、効果的に事業が行われたかを集中的に審査した。

決算総額は歳入387億5188万円、歳出383億6130万円。一般会計は歳入232億2339万円、歳出226億5494万円となった。前年度より、歳入は31億4285万円(約12%)減、歳出は32億655万円(約12%)減となり、歳入・歳出ともに大幅な減額となった。

決算審査は次の予算編成につながるための大事な審査であり、未来に向けたプロセスである。

平成31年度(令和元年度)決算を4つの柱をもとにピックアップ

皆さんが納めた税金を含む予算がどのように使われたのか。平成31年度(令和元年度)の決算は、9月11日・15日・16日の3日間、決算審査特別委員会で審査し、18日の本会議で全ての決算が認定されました。使い道について、市政運営指針で掲げられた4つの柱をもとに一部を紹介します。

子どもたちへの福津の推進

障害児通所支援事業	2億5,705万円
個別予防接種事業	1億6,628万円
妊産婦健診事業	6,363万円
小学校 ICT 学習環境整備事業	2,382万円



新しい福津の推進

農林漁業体験実習館管理運営事業	1,575万円
商工振興補助事業	1,501万円
観光基本計画策定事業	22万円
地域商社「福津いいざい」事業	1,951万円



人がつながる福津の推進

郷づくり交付金事業	1億3,351万円
福津市宣伝広報事業	143万円
人権啓発冊子等作成事務	107万円
世界遺産保存活用事業	492万円



暮らしやすい福津の推進

社会福祉協議会活動助成事業	4,263万円
地域交通体系整備事業	385万円
生物多様性地域戦略推進事業	150万円
防災事業	155万円



ふんちゃんを探せ!
ふんちゃんクイズ

- ①表紙で馬車を引いている馬の名前は?
- ②決算は何年度のもの?
- ③小・中学校の普通教室に設置されるものは?
- ④新原・奴山古墳群に植えられた秋の花は?



ヒントは、
ページをめくって
私を探してね。

※決算内容は「広報ふくつ11月1日号」にも掲載されていますので、あわせてご覧下さい。

加えて、児童・生徒数の増加による学校建設や公共施設の老朽化による更新コストの増大、令和2年3月頃からの新型コロナウイルス感染症による影響など、現時点の決算においては表面化していない今後の市政運営におけるリスクは非常に大きく、今後も慎重な取り組みが求められる。

先行きの見えにくい困難な状況ではあるが、不断の努力と知恵を結集しながら、この難局を乗り越えていただくことを期待したい。

(監査委員審査意見書抜粋)